

サポートチームだより

子どもたちの活動の場を守り、広げていく

～令和7年度第2回十勝管内部活動地域移行市町村担当者ミーティング開催～

令和8年1月21日（水）十勝教育局主催で「令和7年度第2回十勝管内部活動地域移行市町村担当者ミーティング」を開催しました。ミーティングには各市町村から計25名が出席し、十勝教育局からの行政説明、浦幌町からの事例発表及びグループ討議を実施しました。

冒頭では、十勝教育局次長 遠藤 新理 が挨拶で、「管内の地域特性を踏まえ、『できるところから、できる形で』取組を進め、まずは子どもたちの活動の場を守り、広げていくことが重要」とし、「引き続き皆様が推進する取組について、伴走しながら、必要な支援を行ってまいります。」と述べました。

【行政説明】現状に応じ地域と一体で進める。

行政説明では、十勝教育局教育支援課主査（地学協働） 有働 雅哉 より道の推進計画（素案）や十勝教育局が考える取組の方向性などを説明し、「組織による取組の推進」や都市部との人口密度の比較から分析した、十勝における取組の方向性等を示しました。有働主査は「現状に応じた取組を地域の方と一体となって進めていただければ」と述べ、今後の取組に係る進捗を期待しました。



説明する有働主査
（写真奥）

【事例発表】浦幌町の業務委託による取組「仕組みの構築」を目指す。

事例発表では、うらほろのスポーツと文化活動を未来につなぐ一般社団法人 理事 冨木 健吾 さん（=写真右）から発表をしていただきました。同法人は、部活動地域展開の取組に係り令和7年3月に設立され、同年4月より活動を開始し、浦幌町からの業務委託を受けて取組をしていると説明。冨木さんは、心掛けていることとして「自分たちだけで考え進むのではなく、関わる大人・子どもの声を丁寧に拾う」と述べ、今後の取組については「私たちを中心に多様な組織・人をつなぎ合わせながら、公的資源だけに頼りすぎない仕組みの構築」を目指す展望を述べられました。また、浦幌町教育委員会教育次長補佐 松田 健一 さん（写真左）からも業務委託に係る説明があり、出席者は真剣に耳を傾けていました。



発表する冨木さん（右）
（左は浦幌町次長補佐 松田さん）

【グループ討議】取組を進める中での悩みを共有する。

グループ討議は、十勝教育局で作成した「部活動地域展開に向けた熟議運営について」に基づき、有働主査が運営を行いました。冒頭「実は～です」の手法を用いたアイスブレイクの実施やBGMを流すなど、話しやすい環境づくりをした後、討議テーマを「国のガイドラインと道の推進計画を踏まえて、取組を進める中で感じている悩みを共有しましょう。」と設定し、7つのグループに分かれて討議を行いました。討議では財源や人材の他、生徒の移動手段における悩みに係る話題などが多く話され、参加者は積極的に意見を交わしていました。



様々な意見が交わされた討議の様子

今回の討議では、自治体規模に関わらず共通する悩みが多く聞かれ、十勝管内で課題を共有し合うことの意義を改めて確認する機会となりました。

【発行・問合せ先】
北海道教育局

北海道教育庁十勝教育局教育支援課
住所：〒080-8588 帯広市東3条南3丁目
電話：0155-26-9243
E-mail: tokakyo.kyouiku@pref.hokkaido.lg.jp